（廿三日夕刊）

磐城新聞

休刊　大祭第一第三日曜
定價　壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵稅十錢
廣告料　雜報欄行五十錢（場所指定二十錢增）
發行兼編輯印刷人　遠沼龍輔
發行所　福島縣平町田町拾六　磐城新聞社　電話五六四番

新入兒童の親達に

山崎力之介

學校に出たからとて急に改まるはよくないが、入學といふ事によつて子供の氣分はたしかに一新されるもので御座いますから此機をうまく捕へて從業の惡習を去り

良習慣

を養ひたいと思ひます。先づ規律の方面では寢起きの時間を正しくするとか、食事の時刻や食量を定めるとか、程よく勉强させたり、身体殊に手足頭や衣服を清潔にさせ虫歯を防ぐため又は口腔を清潔にするために歯磨を實行させる等是非普導すべきであると思ひます

神佛禮拜

は父兄に見倣つて行はせたい、心から禮拜に導きたいものであります

成績物

は之を尊重させたいそれには之れを掲げる額を作つて必ず一度之に貼り付け、家族一同で奬勵しつゝ眺めたいものであります大家の書畫を鑑賞する父兄方よ我子の力作も認めて下さい、そして終には成績物保存箱に納めて永久に保存するやうにさせたいと思ひます。又子供の事は出來るだけ子供自身にさせたいものであります。それには子供になし得るやうにせねばなりません、即ち帽子やカバンの掛場所を身長に應じて作つて置くやつて氏名札を貼つて置く靴箱も本箱も子供專用のものを與へ札を貼つて責任を持つて清潔整頓をさせるやうにしたい者であります子供當にやつて行きます。私はかうした所に家庭教育としての大切な部面がある事を信ずるので御座います

家庭紀念日の設定

祖先の命日を祀るとか家族の誕生日祝などは古來よく行はれて居ますが私は此際四月□入學記念日としてお祝して戴きたいと思ひます。赤飯でも炊いて神佛に供へ子供を先に家族一同でその子の將來に幸多からん事をお祈りし、一家睦じく食卓を圍む時最も意義の深い價値多い家庭教育が行はれる事を信じます

紀念事業

愛兒の入學や卒業を永久に記念する何等かの施設をほしいものであります、記念事業と申しても莫大の費用を要するものでなしに精神の籠つたものにしたいもので御座います、先づ庭前に果樹、月桂樹、松竹梅等の植樹をするもよろしからふし花壇を作つて子供に自由に栽種させる事も面白からう、又土產貯金法を開始するもよい事であります土產貯金とは旅行した場合その出先で土產物を買ふ代りに相當の貯金をするのであります、實際御覽なさいます、土產といふ事で無ひ遊しましたが入學を機として土產品を改良する事です、教育的に考へて戴きたいのであります、即ち玩具にしても組木、色板並べ、幻燈、寫眞機、蓄音機又兒ならば人形ママ事遊びの道具、危險の伴はない運動具等教育的のものを土產にして戴きたいのであります、次に土產をいたしたいのは家庭文庫を設置する事であります、そして家庭教育上父母の讀むべき良書を集めると共に子供の優良な讀物を購入して戴きたいのでございます此良書を購讀させる事によつて不良な讀物を手にさせないやうに願ひいたしたいのであります。御大典の行はれるお目出度昭和三年に入學されるお子樣である事を思ふ時此記念事業について一層□□申上げたいので御座います

家庭と學校

以上は主として家庭教育について申しましたが、家庭教育といつても學校を離れてはならない即ち師心と親心と合して一心となり以て子心を育んで行かねばなりませんそこには學校家庭の連絡を叫ばねばなりません。親と師とは愛兒教育の上に決して他人ではないのであります、此處に於て全部を打明けて遠慮のない懇談を交さねばなりません、師が我家を訪ねた場合は勿論進んでは度々學校を訪ねて懇談もなし、授業も參觀されたいのであります。我子の進むべき道については就學前から遲くも尋一入學當初から考へて行かねばなりません、身体の發育はどう、性質はどう、伸長して行くか、成績は如何等常にその過程を考慮しつゝ家庭の事情も思ひ合せて確定すべきものであります。

※明日の吉凶※
舊曆二月四日　新曆二月廿四日

▲一白　利に焦れば日を汁は却て人に吸はれ易き日▲二黒　一刻を通さんとすれば却て進路塞がるべし▲三碧　我より好意を以てせば人皆附隨し來るべし▲四綠　謙讓の德顯れて引立てに逢ひて立身すべし▲五黃　奮すれば爲るほど不利に陥り易き注意日▲六白　慈善は人の爲ならずたゞづから後日に報いらるべし▲七赤　盛運の日なれども病には弱し飲食物に注意▲八白　多事多用の日他人の事は成るべく避くべし▲九紫　和順を基とし操急ならざるが無事企業凶

講談　闇に閃く男達（22）

高田浪川作　尾崎雪麿畫

藤兵衛宅へ食客

金五郎は渡りに舟の心もちである

「有難うございます、それではお話しをいたしますが實は私はかう〳〵斯樣々々の身分の者でかういふ目的で江戸へ參り一番名を揚げてみやうといふつもり萬一の事があれば師匠石川正春先生の所へ相談に行くつもりであります」

今日までの一切を物語る

「フム、それぢやアお前さんは石川先生のお弟子でしたか」

「エッ、親分は石川先生を御存じですか」

「へエ、實はその石川先生は今より丁度六年前諸國漫遊の折、一寸した事よりわつちの宅へ足をとゞめられわつちら初め子分の者が劍術の一手も御敎導に預つたものです、まだしばらく御滯在と思つてゐる中に急の御用で御出立となりその後鎌倉に石川といふ先生が御滯在ときゝもしやと思ひながらた訪しやうと思ひ乍ら貧乏ひまなし野郎ばかり相手のつい其の暇もなく今日まではすぎましが、それぢやア石川先生も建長寺を御出立なさいましたか、昔しのお禮も申し述べたく何れ一ど江戸へ行つてお訪ねいたしませう、そこで金五郎さんとやら今お前さんの話を聞けば武士にはなれぬとの事、それかといつてそれだけの腕をもち何人百姓もできなからう、この藤兵衛も聞かねへ以前なら兎も角聞いた以上は惡い樣には計らはねへマアしばらくこの大森に足を止め、時節を見て江戸へ行かれてもたそくはあるまい、だがお前さんもたゞこゝにゐるといつては食客の樣でゐづらいから裏座敷のあいてゐるを幸ひあれへはいつて子分のやつらや、わつちらに一手二手劍道を敎へていたゞけばまんざらたゞで養はれてゐる樣な事もなからうさうなすつてはどうです」

「成程、親分のいはれる事は何から何まで行屆いた有難いお言葉それぢやアあつかましい樣だがしばらくさういふ事にさして貰ひませう、就ては親分私がお前さんの所へ食客の仕始めに一つお願したい事がある、きいておくんなさるか」

「フム、聞ける事なら何でも聞きますよ」

「實は他でもないがあの中盆の友造は前にもいふ通り親分思ひかむした事故、私に免じて今度は勘辨してやつてくんなさい」

デーッと考へてゐた藤兵衛は横手を打ち

「ア、年は行かねへが感心なものだ、現在自分の爲にけんくわの相手を自分の身に代へて詫びをするといふのは普通の人間ではできねへ事だ、なんにもいはねへでお前さんにまかせ申しやせう」

「早速お聞き入れ下され有難うございます」

「ヤイ〳〵友造ッ」

と藤兵衛は聲をかけた

「へエ……」

「てめエ、本當に命冥加なやつだ、年は行かねへが金五郎さんのやり立はどうだてめえらとは段が違つてゐるわい、金五郎さん詫びちやなけれやア、てめねの首はねぢ切る所だ、氣をつけろいッ……」

「どうも金五郎さん、有難うございます」

「アハヽヽヽ、アーにそんなに禮をいわれちやア面目ねへ、まだ己も年の行かない小僧上りだから、食客となるについては前らに可愛がつて貰はにやアならねへそこで友造さん、こゝに三十二兩の金がある、こりやアお前も知つてゐる通り今日鈴ケ森でばくちに勝つた金だ今日からこゝにゐるとなりや別に金の入る事もねへ、ことにけんくわまでして取つた金だからもつて居ても氣持がよくねへから、若い連中で分けてくんねへ」

三十二兩の金をそこへほうり出した

「ドッ……どういたしまして金五郎さん、それを貰つては濟まねへ」

友造は辭退する

「ナーにさうぢやねへ、又入る時には何時お前方に借りる事があるかも知れぬ、とに角お前からいゝやうに分て上げてくんねへ」

「親分あんなにいひなさるがどういたしやせう」

友造は藤兵衛に聞いた

「フム……　金五郎さんも一度出した金だから引もすめへ折角の事だから貰つてたきねへ」

「どうも金五郎さん濟みません、野郎た禮をいひねへ」

平町　吉田眼科醫院

ちらしすり　御需めの方は　平白銀町　吉田新聞店へ　電話四十八

囹廿四日より料金普通にて公開
帝キネ會社作◇原作岡正夫
明石錄朗、賀川清、松枝鶴子
幕末劍俠陣　維新の風雲兒　龍馬暗殺　十四卷　上映
土洲の闘将坂本龍馬は中岡、武市等の勤王同志等と共に思想と主義の爲幕臣と戰ひ吉田東洋を斬りその弟子深見左司馬の腕を斬り落した……
囹阪東庸太郎、マキノ梅太郎、浦路輝子主演
大江戸人情話　文七元結　八卷
囹マキノ正博、東鄉久義、杉狂兒、小宮一晃、岡島艶子
學生生活ローマンス　潮やけわ自棄　七卷
特別出演…月形龍之助、嵐長三郎、鈴木澄子
帝キネ　マキノ　有聲座　電話（四四六番）

宮内省御用達

ヒゲタ醬油
釀造元　銚子醬油株式會社
特約店　平町田町　廣瀬支店　電話五四番

昭和三年度春の粧ひ
新柄が豐富に取揃ひました
是非御覽下さい。
新館陳列
模樣銘仙　京御召　小紋錦紗　帶側
平町　三井呉服店　電話　三七番　八五一番

營業品目
絹糸、絹紡績
綿糸、染糸、組紐
漁網糸、人造絹糸
カタン糸、輸出用加工糸
與綿、其他糸物一式
東京市日本橋區通油町
株式會社　藤掛商店
電話浪花三五一番　振替東京三二四〇番
糸界の羅針盤糸紐通報御一報次第直送
小店員募集
十五才以上十七八才迄　五名
小學校卒業程度御希望の方
磐城新聞社御出で下さい。委細面談

良品廉賣に勝る商略なし
磐城平町五丁目
和洋銅鐵金物問屋　㊇　釜屋商店
磐城セメント株式會社特約代理店
諸橋久太郎
電話九番　一三九番
振替貯口金座東京一〇九五六番
確實敏捷は㊇の生命なり

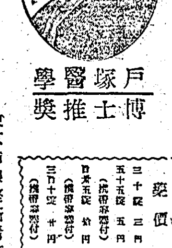
初夏の惱み
生殖機能衰弱
神經衰弱
△倦怠衰弱を覺ゆる男女は注意せよ

トツカピン

生殖器衰弱　徵候
△遺精、夢精で日增しに衰弱する
△精力衰微して、根氣なくなる
△早漏、陰萎、無精となる
△視力が減退して、肩が凝る
△容色年寄臭くなり、意氣消沈
△身心倦怠、腦力減退す

神經衰弱　徵候
△頭が痛いボンヤリして氣が鬱ぐ
△物忘れし易く、勘違ひする
△決斷力鈍く、グズ〳〵の人間となる
△何でもないことに恐怖を感ずる
△眠い癖に夜分安眠不能
△逆上せ易く、便秘し易し
△息切、動悸がして、胸苦しい
△感情に激し易く、淚脆くなる
△婦人はヒステリーとなり、嫉妬する

變だ……と思ひ乍ら、つい多忙にまぎれて、ウカ〳〵と日を送つて居る裡に、症狀は一步一步惡化するのです。本廣告を讀んだ瞬間、冷靜に我身に還つて、右記症狀の一つでも自覺すれば直ちにトツカピンを服用せられよ。トツカピンは生殖器、神經、精力の絕好營養劑にして、人生幸福を多大ならしむる卓絕せる藥効は海外にまで名聲を擅にし、實驗男女は偉大なる何物かを得たるが如き心强さを體驗せしむる唯一の現代文化藥である。


戸塚醫學博士推奬

藥價
三十錠　二圓
五十五錠　五圓（携帶容器付）
百廿五錠　拾圓（携帶容器付）
三百十錠　廿圓（携帶容器付）
（服用）一回一錠　一日三回

發賣元　東京市銀座新肴町八番地　振替口座東京七二二一番　丁子堂藥房
大阪市西區立賣堀北通二ノ九　振替口座大阪百六番

完全に勝ち拔いた 石城の政友派

松本氏を相援けて 佐川氏への同情

政民兩派が命を堵けて戰ひ拔いた總選擧の結果は本縣政友派は豫期の如く公認六名全部の當選を見普選最初の聖戰は既に政友派の大勝に歸したが第三區に於ける戰跡を見ると木村氏は比佐氏に比し約六百票に近い差を見たがこれは石城政友は當初より第三區に於て二名獲得を目標に選擧區の狹少な松本氏の爲め石城郡を松本氏の自由に委し投票を適當に按配し、そのよろしきを得たる結果にして次に松本氏と氏家氏の差は約千二百票に近く如何に氏家氏が躍起となるも此の大勢は挽回し得ぬ道理で素より當然の事である、ただ惜むらくは民政系中立の山田氏が相當勢力を持續し双相二郡に於ける民政派の投票を獲得した爲め氏家氏の直接痛手を蒙つた事は事實にして此の點は氏家氏に同情すべきであるが更に特筆すべきは中立佐川潔候補であた、氏は常に大阪に在り郷里石城郡とは全く交渉薄く雌山の石に等しき白面の一青年が貧弱な軍備金と同志を提げ石城民政黨を與向に廻し政友派あり文字通り腹背に敵を受け三旬に亘る熱烈火の如き戰々を交ひ續けた佐川候補が茲に眞實溢る血熱の一千四百票を獲得した事は

その努力と熱誠大いに賞すべきものあり選擧民より多大の同情を購つてゐるが佐川氏は捲土重來を期し時機の到來をおもむろに待つ事となつた

小鳥特賣人氣 平町

田町のベニヤ小鳥店では本日から第二回の特賣デーを開催したが流行もの十姉妹は一圓から其の他セキセイ、インコ、カナリヤ等の可愛小鳥が文字通り飛ぶ様に賣れて素晴しい人氣である

新裝する 平郵便局 十月頃竣成平

愈新築移轉する事に決定した平郵便局の新築工事は新敷地の讓り渡し手續き等も既に一切完了して四月末迄には何れも立退かねばならぬ事となつてゐるから立退きの終ると共に直に工事に着手される筈で地下線の埋没其他工事も理想的建物たらしむべき當局の計畫なれば再三に亘る愼重な踏査も行はれ多少工事の遲延は免れざるべきも十月頃迄には其落成を遂げしむる豫定にて工事を急ぐ筈であると

第三區の選擧會 本日全く終了

落選の人の氣の毒さと 勝ち誇る三將軍

聖戰の狼火揚げられて三旬敵も味方も全力を傾注して普選當初の當選てふ榮冠を目ざし生命を賭し文字通り血みどろな戰を續けて來た縣下最大の激戰地たりし本第三區に於ける六騎士の運命は昨廿二日双葉郡富岡町の開票を

最後に勝つ者は勝ち敗れる者は敗れ燦ゐる榮光に人生至上の喜悅に浸る木村、松本、比佐の三氏に引きかへ此れはまた今更の樣に敗陣を見詰めて人生最大の悲哀を感んずるは氏家、山田、佐川の三氏に決定したが三旬餘の總勘定たる第三區の選擧會は今廿三日午後一時から舊石城郡役所に於いて選擧長佐瀨剛氏以下木村派より草野七五三之助松本派より皆川千城、比佐派より萩原義雄、氏家派野崎滿藏、佐川派野崎東太の五氏

立會の上開票された結果別項の如く、木村清治(政)松本孫右エ門(政)比佐昌平(民)の三氏に對し各れも當選通知を發した

締切間際に 無資格發見 假投票で凫

平町の投票に際し午後六時締切り間際になつて投票に來た平町才槌小路小野琢案にあつた同人は過般の縣會議員選擧に際し人力車夫有志を集め饗應したといふので選擧違反に問はれ二十圓の罰金に處されてゐる事立會人が發見問題となり立會人は全部同氏を無資格者として投票を拒む事になつたが兎に角その場は假投票を行つた

衆議院議員選擧投票各町村別分野一覽表

備考 △有權者數は選擧當日現在の實數 △二月廿二日午前二時確定せる數

町村名	有權數	投票數	棄權	無効	有効票	木村	比佐	松本	氏家	佐川	山田
平	四、〇六一	三、七〇九	三五〇	三一	三、六七八	一、五五九	一、六六九	一五七	一七八	九〇	二五
飯野	六二七	五七五	五二	一	五七四	三三九	二〇三	一九	五	六	二
鹿島	三六四	三二〇	四二	二	三一八	一四二	一六〇	五	四	七	〇
江名	一、〇一二	八八三	一二四	五	八六八	五二九	二九八	四	三七	五	〇
豐間	六八五	五三四	一五一	五	五二九	二八一	一五九	一三	三三	四三	〇
高久	四九二	四五二	四〇	一	四五一	二一七	一七四	二一	〇	三九	〇
夏井	五〇四	四五〇	五四	四	四四六	二一二	二二六	〇	三	四	一
神谷	六七三	六一二	六一	五	六〇八	二九七	一九九	七五	二六	一〇	一
草野	八四八	七八〇	六八	二	七七八	五二四	一七六	七〇	四	四	〇
大浦	八八五	八二三	六二	一三	八一一	六七六	一一八	九	五	三	〇
四倉	一、三八二	一、二四七	一三五	一八	一、二二九	八九三	三〇三	四	一一	一四	四
大野	七九五	七二〇	七五	二七	六七八	四三五	二三五	三	二	三	〇
平窪	六二五	五六二	六三	一二	五五〇	三〇五	二〇五	二三	八	九	〇
赤井	一、三七五	一、二二一	一五四	一八	一、二〇九	四二三	七二八	二二	一〇	二五	一
小川	八二〇	七四五	七五	六	七三九	四四二	二七〇	五	九	一二	一
川前	五九一	四七六	一一五	九	四六七	一四〇	二九〇	一二	一九	六	〇
三阪	七六五	六〇八	一五七	一〇	五九八	二〇八	三六〇	一	一三	一五	一
永戸	七四五	六一五	一三〇	一五	五九六	一九九	三八九	〇	六	四	二
好間	二、二〇〇	一、九〇六	二九四	二三	一、八八〇	五一六	九〇五	八一	五三	三二	一三
內郷	四、四二〇	三、七九五	六二五	七八	三、七一九	七四八	二、二八七	一九四	七九	三九一	二〇
湯本	二、〇七四	一、九一八	一五六	三二	一、八八九	三七六	一、四一七	三八	一四	三九	一
磐崎	一、七二三	一、四六〇	二六三	一九	一、四四一	二九八	九〇八	一二三	四三	六七	二
上遠野	九一五	七九八	一一七	七	七九六	三七八	三八四	一二	四	一三	五
入遠野	八五二	七二四	一二八	四	七五三	二二七	四五九	二五	二	三九	一
田人	九八七	七六一	一六六	四	七二三	二四八	四二九	二二	一〇	一二	二
川部	八三〇	六九一	一三九	三	六九六	三三一	三〇七	四四	四	一〇	〇
勿來	一、四四〇	一、二四一	一九九	二	一、二二三	四五四	五八三	一四六	八	三三	〇
錦	六七四	六二六	四八	四	六〇八	三四九	二四二	五	〇	一二	〇
山田	六一七	五六三	五四	一	五七三	三七九	一六三	一〇	〇	一七	一
植田	一、〇三三	九六六	六七	五	九七二	四九一	四五七	一五	四	五	〇
渡邊	三九九	三五七	四二	四	三五八	一八五	一五四	一四	三	二	〇
泉	七五八	六八九	六九	三	六九四	三三三	三二四	四	二〇	一〇	三
玉川	四五一	四〇三	四八	三	三九七	一二九	二三二	二三	〇	一一	二
小名濱	一、四四二	一、二五五	一八七	二三	一、二三二	七六六	三八五	一三	二八	一八	二二
石城郡計	三八、〇五六	三三、四八八	四、五六八	四〇二	三三、〇八六	一四、一二九	一五、八〇六	一、二三九	六二七	一、二七九	一〇六
双葉郡計	一二、三七〇	一〇、七〇八	一、五六二	一〇七	九、〇三九	一、一七四	九〇	三、四四二	四、九九八	五二	八四五
相馬郡計	一九、五〇九	一六、八八二	二、六二七	一八〇	一四、〇七五	一三二	七一	八、六五三	六、四四六	五四	一、三四二
總合計	六九、九三五	六一、〇七八	八、七九七	六八九	五六、二〇〇	一五、四三五	一五、九六七	一三、二三四	一二、〇七一	一、三八五	二、二九三

本縣政友派大勝

政友六、民政五に確定 當選者の氏名

本縣に於ける開票の結果は左の如く政友派六名、民政五名の當選を見從來二名であつた政友會が公認六名全部の當選を見大勝利を博した

△第一區（定員三名）
一八、九五六 粟山博（民前）
一八、八七五 堀切善兵衛（政前）
一八、〇九〇 菅野善右衛門（政新）

△第二區（定員五名）
二二、四一八 八田宗吉（政前）
一六、六一四 金澤安之助（民前）
一五、七〇九 石射文五郎（政元）
一五、〇六八 菅村太事（民前）
一四、八七〇 林平馬（民新）

△第三區（定員三名）
一五、九六七 比佐昌平（民前）
一五、四三五 木村清治（政新）
一三、二三四 松本孫右衛門（政元）

總選擧も終つて 月掛貯金募集

農村からも大受けで 平郵便局大多忙

平郵便局では總選擧のため多忙を極め郵便年金の募集ならびに二月一日より實施された月掛貯金の宣傳を等閑にしてゐたが事務が平常に復するとゝもに力を年金の募集たよび月掛貯金の宣傳勸誘につとめ仙遞管内における第一位の地位を保持するにつとむると意氣込むでゐるが尚二月一日より實施された月掛貯金の狀況を聞くにこれは町村に於て非常に歡迎され實施前たゞ一回の宣傳をなしたるに十九日まで平郵便局の受付け口數相當の口數と金額に達する見込であるこの

制度は郵便局のない町村に郵便局を設置された如き感を加入者にもたれてゐるが同局では集金掛を加入者の家庭に使はし不在のときは何，再び集園に來るとの注意書を置いて來るやうにする方針をたて目下努力中である

木村清治氏の 當選祝賀會 廿六日平劇場

石城政友派では今回の總選擧に際し豫定の如き大勝を博したので有志發起となり來る二十六日（日曜日）午後一時より平町平劇場に於て木村清治氏の當選祝賀會を開く事となつたが會費五十錢で同志多數の出席を歡迎

すると

本郡下の 徵兵檢査 平と植田で 日割

石城郡に於ける本年度の徵兵檢査は左記日割を以て午前八時より午後七時半まで行ふ事に決定した
△植田小學校四月十九日より五日間
△平町元公會堂四月廿四日より十三日間

今度こそは 辭職を決意 高木湯本町長

石城郡湯本町では區會廢止の問題から高木町長の態度を非として騷ぎだし告訴さたなりいまだに解決がつかずこれがために昨年後期から町税の徵收が困難となり最近役場吏員や小學校教員の給料さへ支拂ひが出來なくなり弱つてゐる

開票場には 德利の塵 葱肉一揃ひ

平開票區の開票は其結果を知んと押寄せた群衆は終日開票場の周圍を取かこみ寒さに身をふるはせながら相互に援護した候補者の身案じ悲喜の思ひを胸に秘めてゐたが一方開票場でさへ夜に入りては長時間に亘る上餘りの寒さに堪え兼ねてか葱肉德利などと一揃ひのものが運ばれてゐたが二十二日朝には驚くなかれ場內の隅には一升德利が七八本ゴロ／＼してゐたがあゝした寒むさでは神聖な開票場だなんと言つたところで矢張り御多聞にもれぬことゝなるものか

當選御禮

福島縣第三區 衆議院議員 木村清治

內科。外科。婦人科。小兒科。花柳病科。
磐城病院
平町田町本通り （電話一一四番）
入院隨時

商標 登録
釀造元
福島縣平町 **山崎合名會社**
電話｛營業部一〇番 釀造工場二七番
振替東京一九七五五番
東京支店 上野車坂町四三
電話下谷五七二三番
振替東京六八三二三番

廿四日（金曜日）替り上映
日活軍劇派特作品……南光明大努力主演
血涙悲壯 **皇恩** 全
山本嘉一、高木永二、小泉嘉輔、伊藤隆世、瀧花久子、牧君子、市川春衛…其他助演
◆全世界を驚嘆せしめたるパラマンド全力傾注百萬ドル映畫の一
それからそれへと眼まぐるしく展開する哄笑諧謔速力の大喜活劇
冒險大喜活劇 **極樂突進** 全
◆優レイモンドグリフイス氏決死的大冒險主演映畫
松平鶴之助 入社第一回獨力主演雄篇
建國大劔史 **神文** 全
櫻木梅子、澤蘭子、磯川元春、高木永二
市川百之助、日活時代派本年度大作映畫の二
土曜 日曜 學生デー
日活松竹特撰映畫 高級常設 **平館** 電（四六六）

平町郊外關ノ上
土木建築請負 **強口唯七郎** 電話四〇一番
砂利、砂は御用命あり次第砂一升砂利一俵以上直ちに御届けいたします